

世界経済フォーラム第4次産業革命センターとの戦略的パートナーシップについて

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、世界経済フォーラム第4次産業革命センターⁱ（以下「C4IR」）にセンターパートナーとして参画することとしました。画像処理、コンピュータビジョン、仮想現実・拡張現実等に深い知見を有し、Diamond Edge Ventures Inc.（米国シリコンバレーに拠点を置く当社のCVC新社）に所属するVenkataraman Sundareswaran氏を責任者として起用、C4IRに派遣し、先端技術による社会への利益の最大化に貢献していきます。

C4IRは、世界経済フォーラム本部が、AIやIoTなど新たな科学技術が社会にもたらす便益や、懸念されるリスク・社会的影響のマネジメントのあり方等について、各国政府、企業、国際機関等が対話を行い、具体的に協力していくための拠点として米国サンフランシスコに設置しました。C4IRが行うプロジェクトは、環境、精密医療、人工知能、機械学習などの分野を含み、当社が掲げるKAITEKIフィロソフィーとこれに基づく事業活動とに深い関わりがあります。

当社は、2017年4月、イノベーションを加速し、グローバルにおける革新的なアイデア・技術を取り込むことを目的に、CIOのLarry Meixnerのもと「先端技術・事業開発室」を設置しました。C4IRへの参画は、先端技術・事業開発室が所管します。当社は、C4IRへの参画を通じて、C4IRが進めるプロジェクトへの貢献と同時に、第4次産業革命に関する世界最先端の技術へのアクセスや、多くの関係機関とのネットワーク構築を図っていきます。

当社CIO Larry Meixnerのコメント：

「当社グループは、人、社会、地球の心地よさが持続していくことを目指し、そのために必要な技術を採用することに取り組んでいます。我々は、変革を達成するためには、グローバルな問題について、技術的な観点だけではなく、技術のガバナンス、政策の枠組み、社会との関係を十分に考慮した上で対処する必要があると認識しています。私は、Sundareswaran博士がリーダーシップを発揮し、役割を果たすことで、先端的な科学技術の利益を最大化し、リスクを最小限に抑えるというC4IRのミッションに対し大きな貢献ができると確信しています。」

世界経済フォーラム第4次産業革命センター長 Murat Sonmez 氏のコメント：

「三菱ケミカルホールディングスは、日本の化学産業における持続可能な発展に関するリーダーであると考えられてきました。また、素材からヘルスケアに亘る同社の幅広い事業分野は、我々の中核的プライオリティと多くの接点を持っています。我々は、三菱ケミカルホールディングスと協力して、先端技術が社会に与えるプラスの影響を加速することを楽しみにしています。」

ⁱ 世界経済フォーラム第4次産業革命センター：世界経済フォーラム本部（スイス）が、AI、IoTなどを活用した第4次産業革命に関する取組みを集中的に議論し、実証試験を行うためサンフランシスコに設立した拠点。世界各国の政府、大手企業、市民社会、専門家が参画している。

当社は、サンフランシスコの C4IR への参画に加え、東京における第四次産業革命日本センターの設立と初期の活動においても重要な役割を果たしています。

【Venkataraman Sundareswaran の略歴】

(学歴)

1992年5月 ニューヨーク大学 コンピューターサイエンス博士課程修了
1987年1月 インド理科大学院 システムサイエンス・オートメーション 修士課程修了

(職歴)

2010年6月 Teledyne Scientific & Imaging 副社長
1996年12月 Rockwell Scientific 取締役
1993年10月 ボストン大学 リサーチサイエンティスト
1992年10月 フランス国立情報学自動制御研究所 リサーチサイエンティスト

以上

本件のお問合せ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
電話：03-6748-7140